

耐震診断・耐震改修の目標 補足説明資料

(1) 住宅の耐震化の目標値

平成 27 年度における、住宅の耐震化率の目標値を「90%」に設定します。

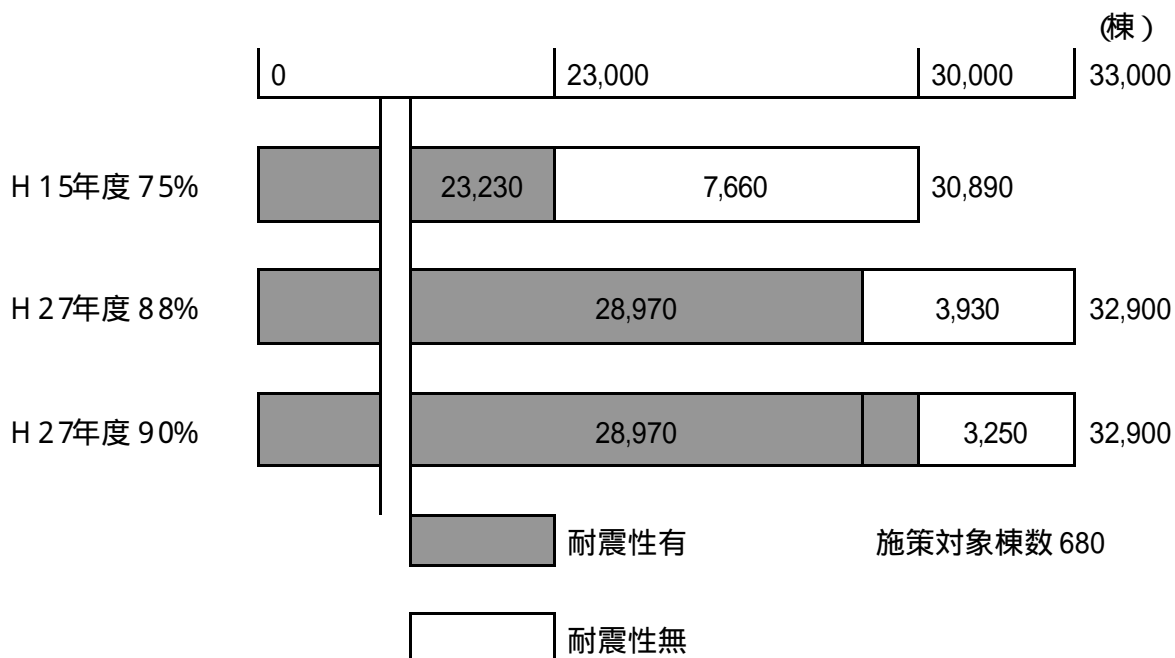
鹿沼市の平成 15 年度の耐震化率は、約 75.2%であり、耐震改修を必要とする住宅は約 8 千戸と推定されます。

今後の住宅の戸数は、平成 27 年度で約 3 万 3 千戸と推計され、現在までのペースで住宅の建替え等が進むと仮定すると、平成 27 年度における耐震性ありの住宅戸数は約 2 万 9 千戸になると推計されますが、目標達成のためには約 700 戸届きません。

そこで、耐震化率を 90%にするには、約 700 戸に対して耐震改修を促進するための施策を講じる必要があります。

現状の耐震化率を 90%まで引き上げるためには、建替え等による自然更新の他、約 700 棟の耐震改修が必要であり、平成 27 年度までに 700 棟の耐震診断の実施も併せて目標とします。

[住宅の耐震化の現状・予測と目標]



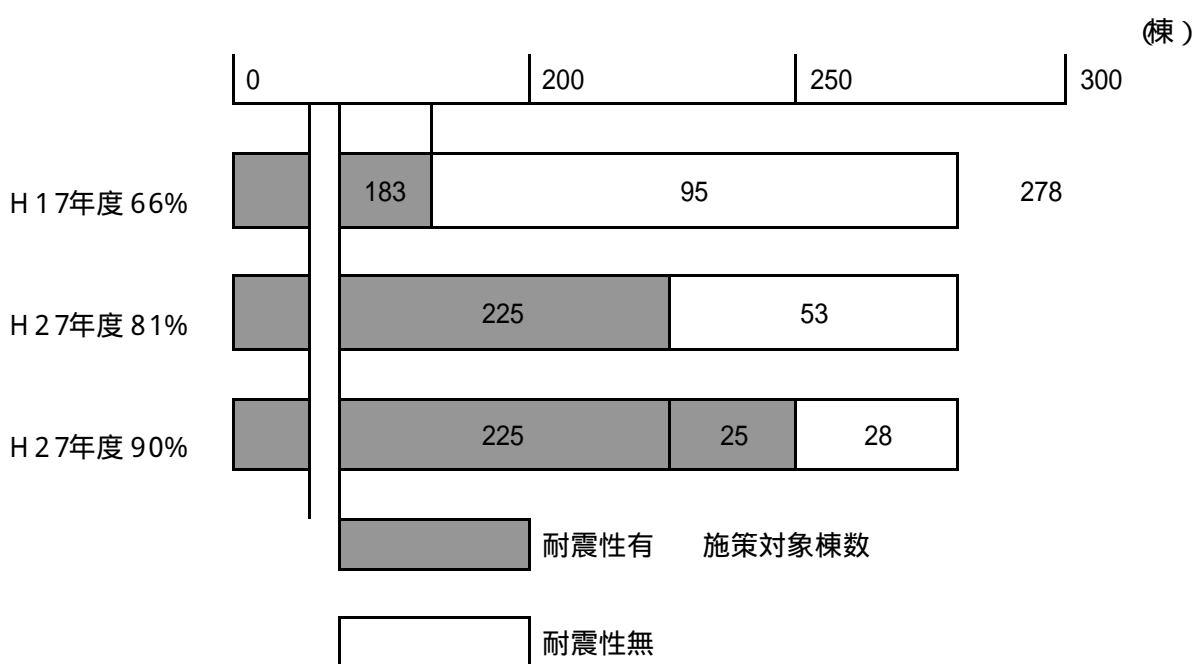
(2) 特定建築物（民有・市有）の耐震化の目標値

ア 多数の者が利用する建築物【法第6条第1号】

平成27年度における、当該特定建築物の耐震化率の目標値を「90%」に設定します。

また、当該特定建築物の中でも、特に公共性が高く防災上重要な建築物である学校、病院・診療所、社会福祉施設、及び使用者の滞在時間が長い建築物である賃貸共同住宅については、以下のとおり用途毎に耐震化率の目標を設定します。

[多数者利用建築物の耐震化の現状・予測と目標]



H27 の 81% は県促進計画値を使用した。

種 別		耐震化率	
		現状 (H17)	目標 (H27)
特定建築物 (多数者利用建築物)		66%	90%
用途毎に目標を設定する特定建築物の用途	学校 (H21)	62%	100%
	病院・診療所	56%	90%
	社会福祉施設等	88%	
	賃貸共同住宅	64%	95%

〔参考：平成 21 年度小中学校用途耐震化率〕

耐震性無 38%

耐震性有 62%

--	--

49	81
----	----

耐震改修実施済

49	8	73
----	---	----

耐震性無	耐震性有
------	------

--	--

S56 以前 57棟

S57 以降 73棟

小中学校は耐震化 100%を目指し実施して行きます。

イ 市有建築物の耐震化の目標値

以下に示す市有建築物を対象とし、選定方針に基づき耐震化を進めます。

[市有建築物の耐震化率の現状と目標] ()は災害時の拠点 避難所等

種別	総数 (棟)	S57 以 降 (棟)	S56 以 前 (棟)	耐震性 有 (棟)	耐震化 率 (現 状)	耐震化 率 (目 標)
防災上重要な建築物等	1	188 (47)	105 (27)	115 (27)	61% (57)	90%
特定建築物	2	174	98	108	62%	

- 1 災害時の拠点となる建築物、多くの市民が利用する建築物、比較的利用者の滞在時間が長い建築物等について、耐震化の目標を 90% に設定します。
- 2 法で用途・規模が定められている特定建築物について、耐震化の目標を 90% に設定します。

なお、市有建築物の耐震化率は、耐震改修済のもの、耐震診断により現行の耐震基準を満たすと判断されたもの、及び S57 以降に建築されたものを「耐震性有」として算出しています。